# 研究成果のイメージ（ゴールに向けて）

＜英語でのコミュニケーションから国際理解へ＞

| | |
|---|---|
| ○年間活動計画の作成<br>・「聞くこと」「話すこと」，コミュニケーションを重視した計画<br>・題材，単元構成の工夫<br>○全時間の展開案及び教材の作成 | ・子どもたちが意欲的に楽しく活動できた。<br>・英語への関心が深まった。<br>・本校の英語活動のスタイル明らかにできた。<br>・外国の生活や文化への関心が高まった。 |
| ○国際交流活動の実施<br>・外国の人や外国に詳しい人に接する。<br>・外国の文化や生活にふれる。 | ・外国の人と積極的にかかわることができた。<br>・外国の生活や文化についての関心が高まった。<br>・視野が広がった。<br>・共に生きていくことの大切さに気付いた。 |
| ○英語に触れることのできる学習環境の整備<br>・多目的ホール（ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭﾙｰﾑ）や教室の整備<br>・日常的に英語に触れる環境（聞く・見る） | ・外国の生活や文化への関心が高まった。<br>・英語に多く触れ，慣れ親しむことができた。 |
| ○職員の英語研修<br>・英語の発音に慣れる。<br>・クラスルームイングリッシュ習得 | ・職員の英語に対する抵抗がなくなり，自信を持って授業に望むことができた。 |
| ○先進校や書籍による研究 | ・小学校英語活動の進め方について理　解することができた。 |

＜期待される子どもの変容＞

○英語に親しみをもつようになった。

○コミュニケーションに進んで取り組むようになった。

○異文化を理解し，尊重しようとする態度が育った。